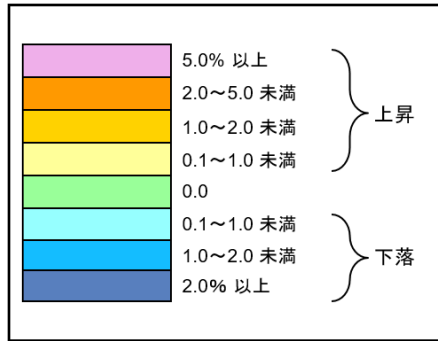


6. 名古屋圏の商業地

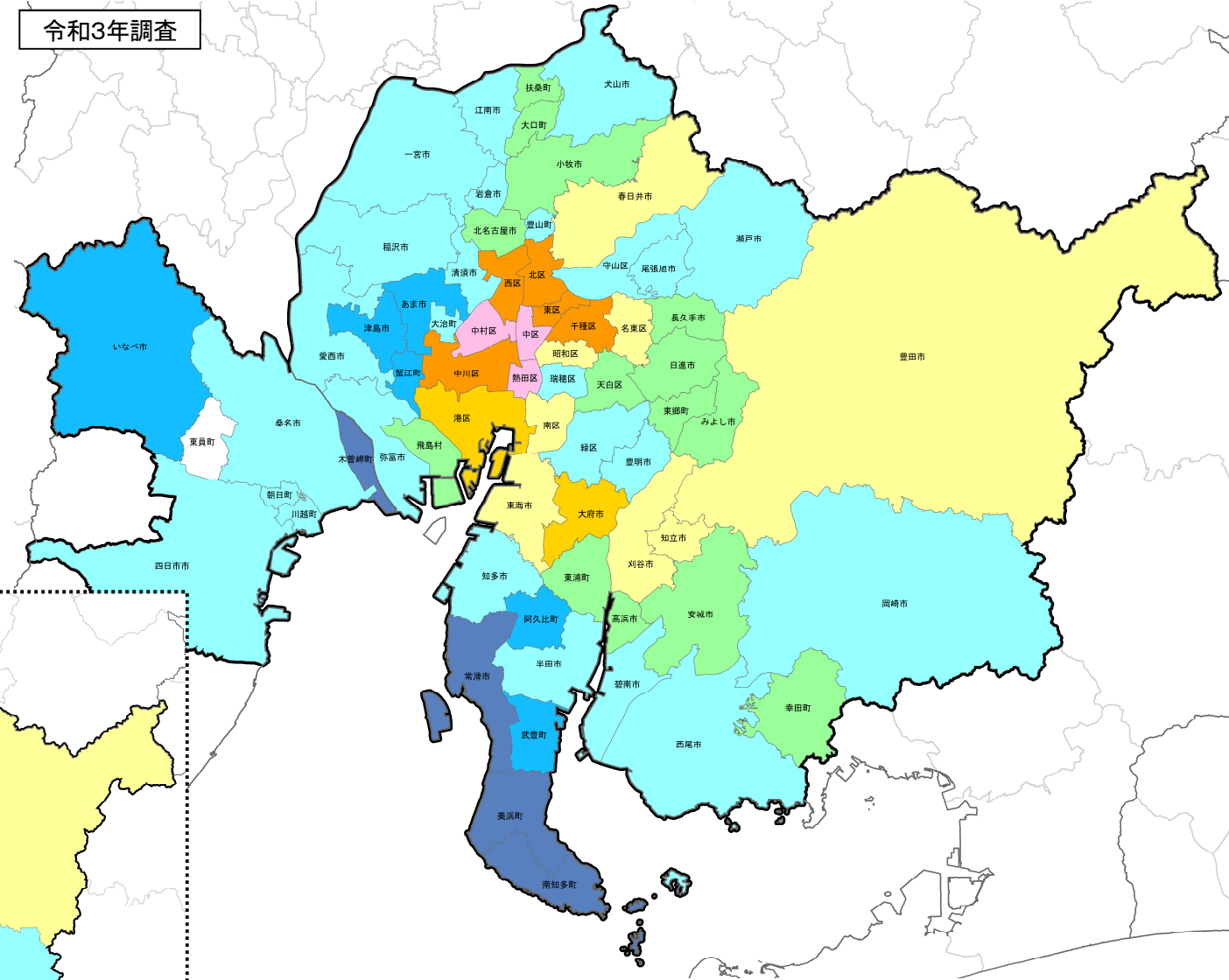
※（ ）は前年変動率

愛 知 県	<ul style="list-style-type: none">○ 名古屋市では、3.2%上昇(1.5%下落)。全 16 区のうち、2 区で上昇率が拡大、10 区で下落から上昇、1 区で下落から横ばい、3 区で下落率が縮小となった。・ 特に市中心部で上昇しており、中区で 7.2%上昇、中村区で 5.3%上昇、熱田区で 5.4%上昇となった。・ 名古屋駅・伏見・栄地区都市機能誘導制度の運用開始や栄地区中心部の再開発の進展等の要因により、投資活動が活発化している。○ 西三河地域では、自動車産業をはじめとする地域経済の回復により、下落から上昇に転じた市が見られる。○ 知多及び尾張西部地域では、下落が続いている市町が見られる。
三 重 県	<ul style="list-style-type: none">○ 四日市市では、0.7%下落(0.2%上昇)。近鉄四日市駅周辺の飲食店街は客足の減少等から収益性が低下し、上昇から下落に転じた。○ 桑名市では、0.9%下落(0.1%上昇)。店舗需要が減退し、上昇から下落となった。

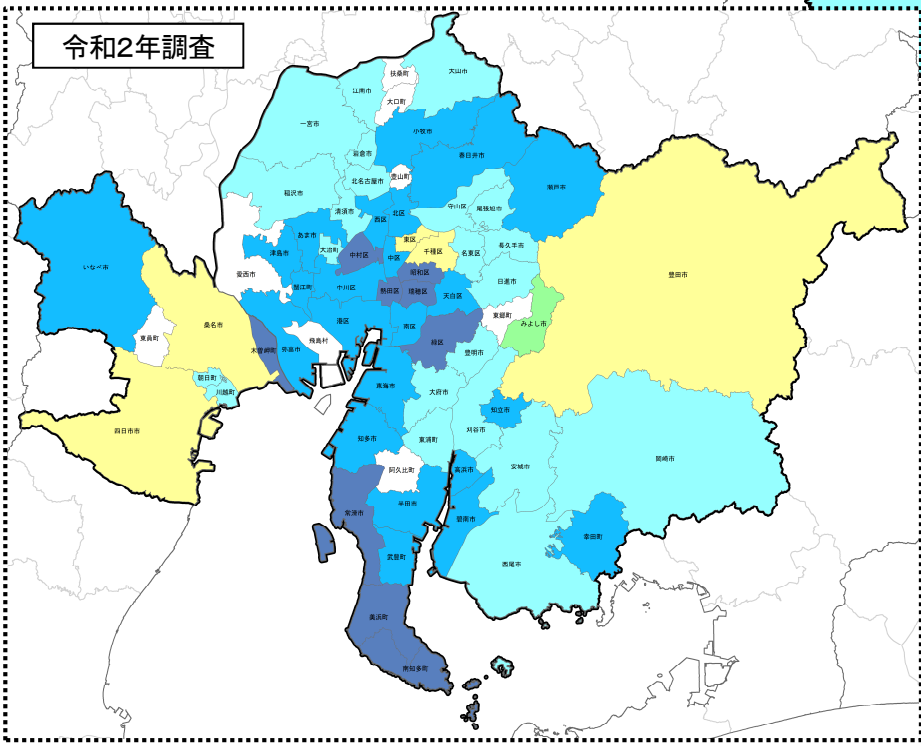
市区町村別の状況（名古屋圏・商業地）



令和3年調査



令和2年調査



※圏域内の白色部分は、継続地点が設置されていない市区町村である。